

「家庭用ごみ減量器具に関するアンケート」

調査結果報告書

「成田市家庭用ごみ減量器具設置費補助金交付規則」に基づき、補助金の交付を受けた設置者へ、家庭用ごみ減量器具(コンポスト容器, 生ごみ処理容器, 機械式生ごみ処理機)の使用状況や、使用した感想・意見を検証し、同制度に関する基礎資料を得ることを目的として、アンケート調査を実施しました。

【アンケート実施概要】

1. 調査対象

平成28年度～平成29年度同制度利用者
133名

2. 調査期間

令和3年12月6日～同年12月24日

3. 調査方法

アンケート調査票を郵送配布し、無記名回答で返信用封筒による回収

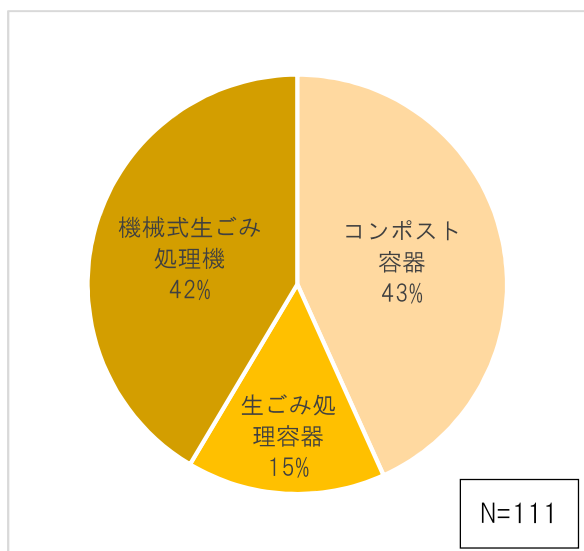
4. 回答者数

104名(回答率:78.2%)

5. アンケート集計結果

次項以降参照

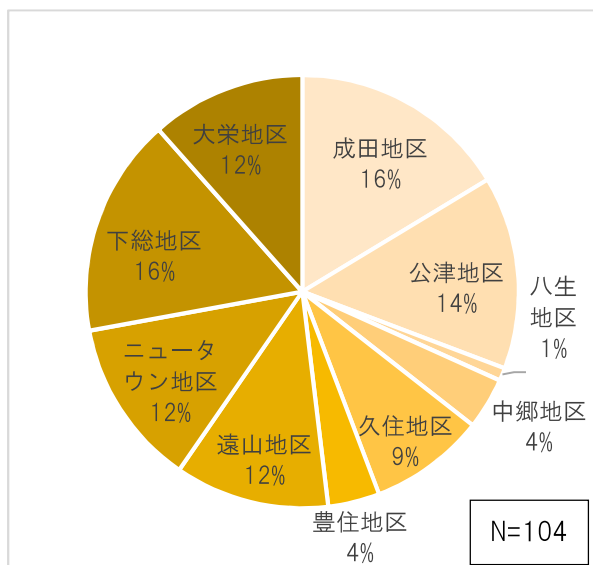
Q1.購入した減量器具の種類をお答えください。



コンポスト容器	48 人
生ごみ処理容器	17 人
機械式生ごみ処理機	46 人

コンポスト容器の購入者が43%で最も多く、次いで機械式生ごみ処理機が42%でした。

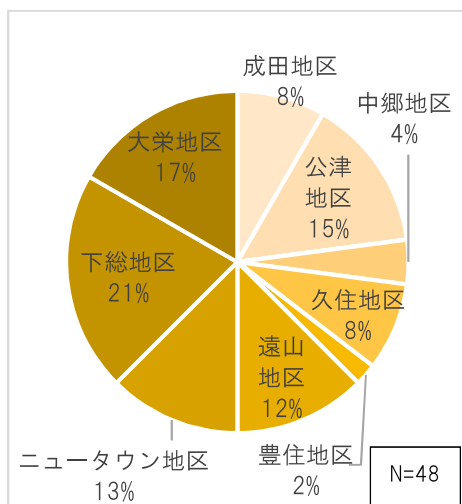
Q2.お住いの地区を教えてください。



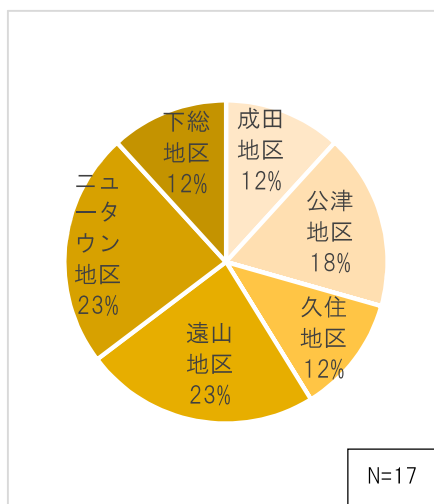
成田地区	17 人
公津地区	15 人
八生地区	1 人
中郷地区	4 人
久住地区	9 人
豊住地区	4 人
遠山地区	12 人
ニュータウン地区	13 人
下総地区	17 人
大栄地区	12 人

全体で成田地区と下総地区が16%で最も多く、次いで公津地区が14%となりました。人口が多い地区のほか、遠山地区や下総地区などの特例地区も比較的多い結果となりました。

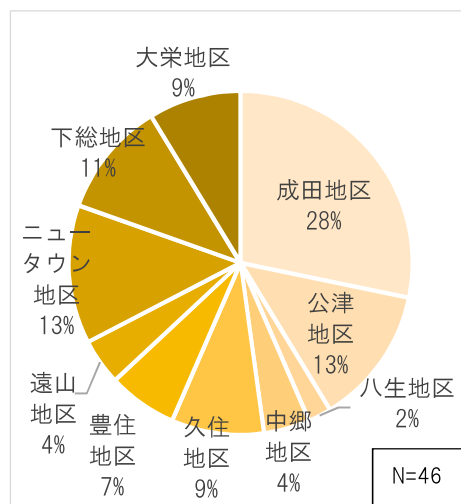
<コンポスト容器>



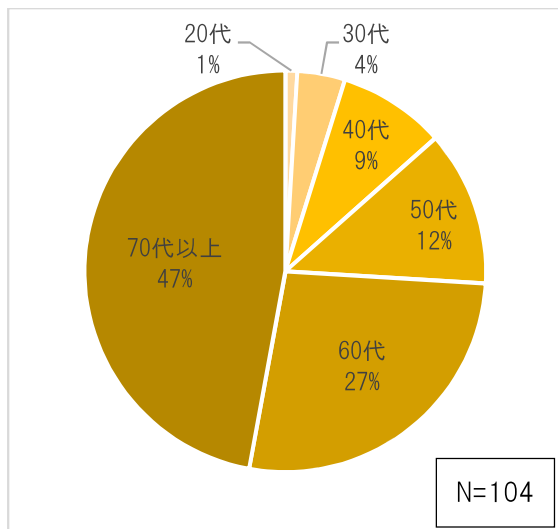
<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



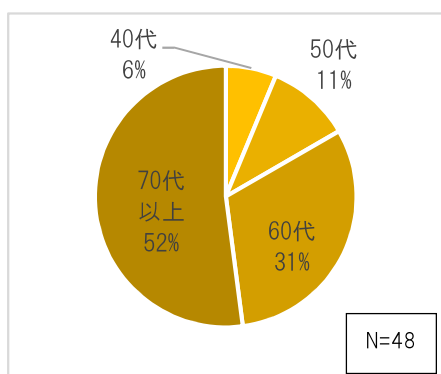
Q3.あなたの年齢層をお答えください。(主に使用されている方)



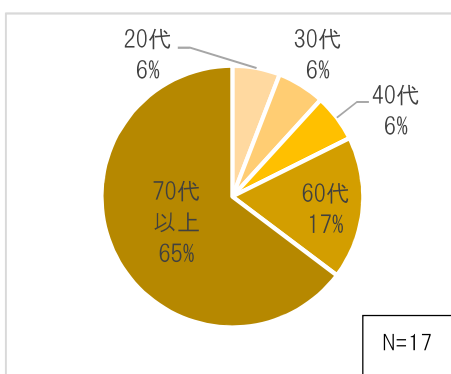
20代	1人
30代	4人
40代	9人
50代	13人
60代	28人
70代以上	49人

全体で70代以上が47%と半数近くを占めました。高齢者が多い傾向にあります。機械式生ごみ処理機については、他の器具に比べ、若い世代が多く使用していることが分かります。

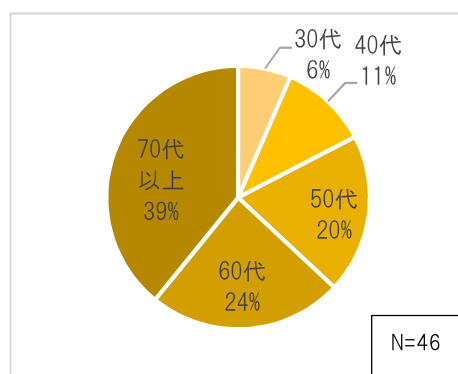
<コンポスト容器>



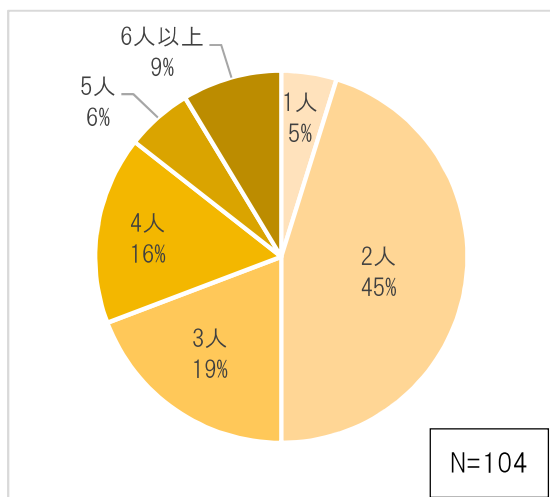
<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



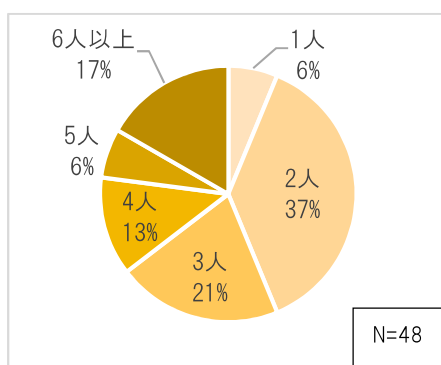
Q4.世帯の人数をお答えください。



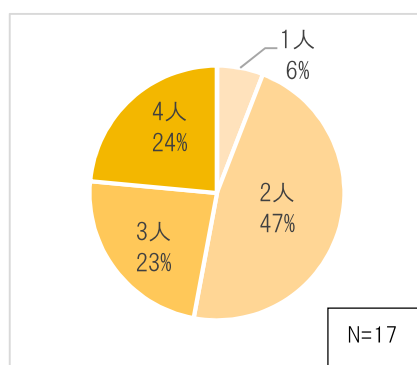
1人	5人
2人	47人
3人	20人
4人	17人
5人	6人
6人以上	9人

全体で2人世帯が45%と半数近くを占めました。どの器具も複数人世帯が多く使用していることが分かります。

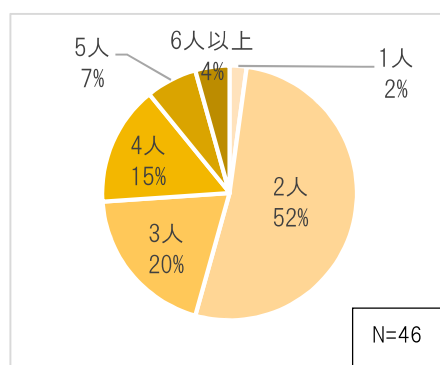
<コンポスト容器>



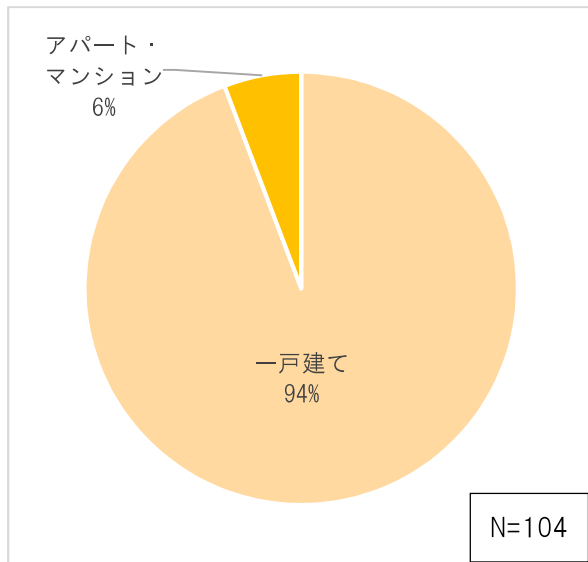
<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



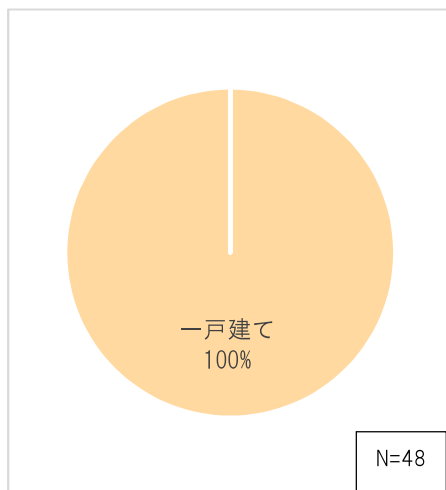
Q5.お住いの住宅の種類をお答えください。



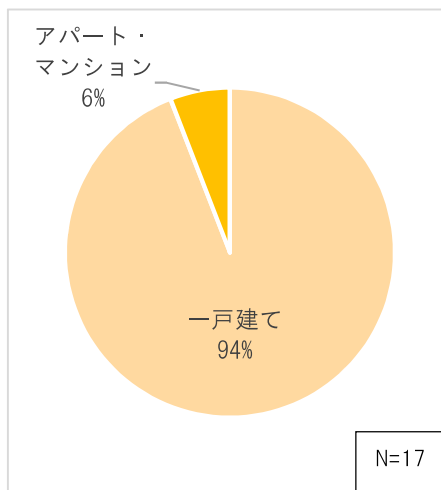
一戸建て	98人
アパート・マンション	6人

全体で一戸建てが94%とかなり多くの割合を占めました。
 コンポスト容器については一戸建てが100%でした。
 機械式生ごみ処理機については、アパート・マンションに居住している人が他の器具より若干多い結果となりました。

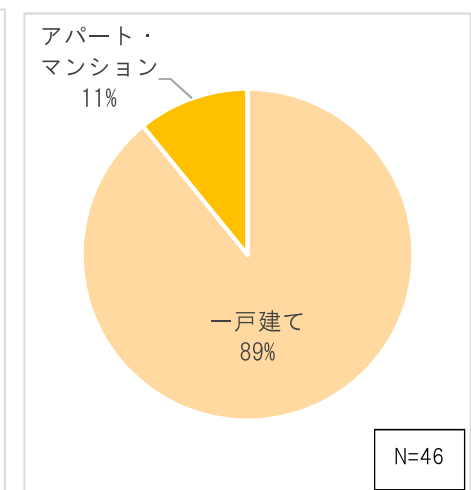
<コンポスト容器>



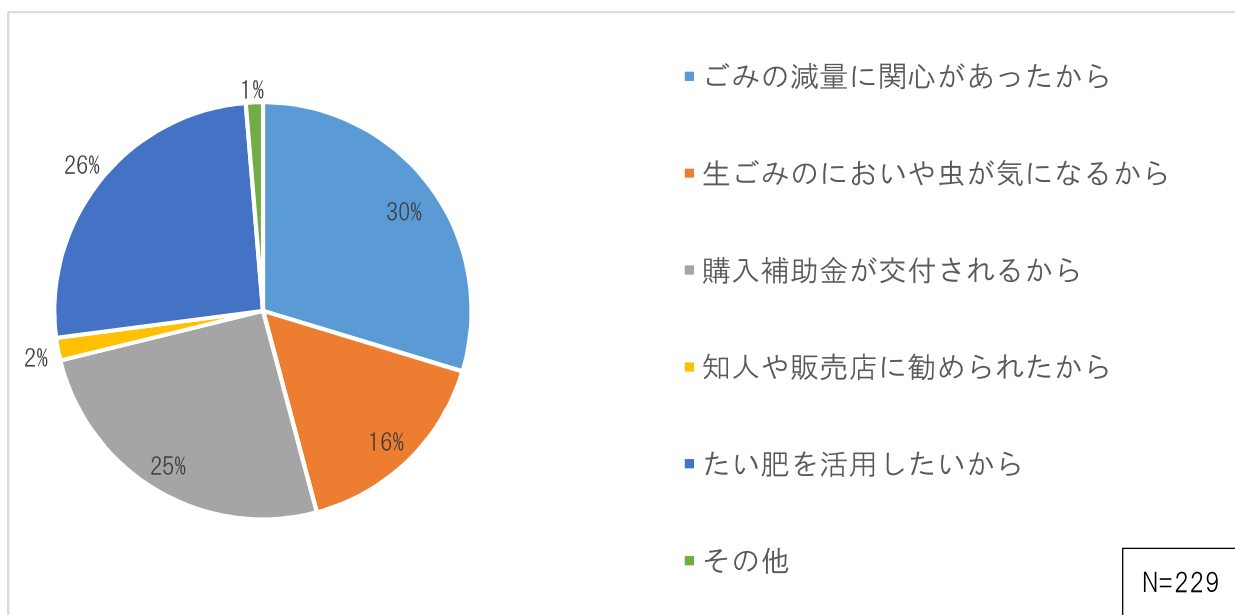
<生ごみ処理容器>



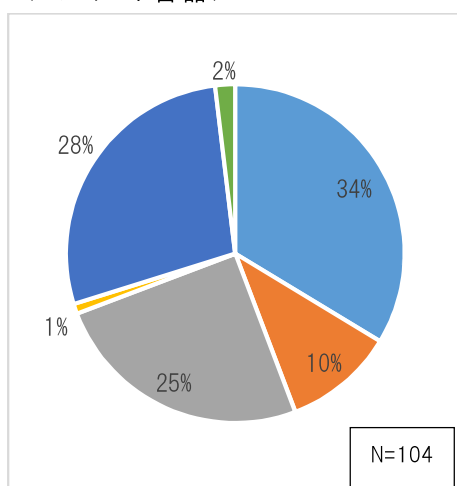
<機械式生ごみ処理機>



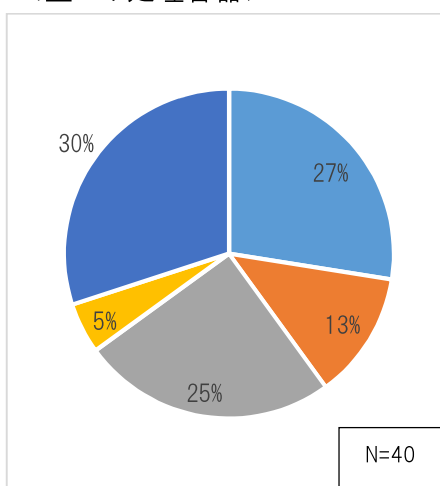
Q6.購入した理由をお答えください。



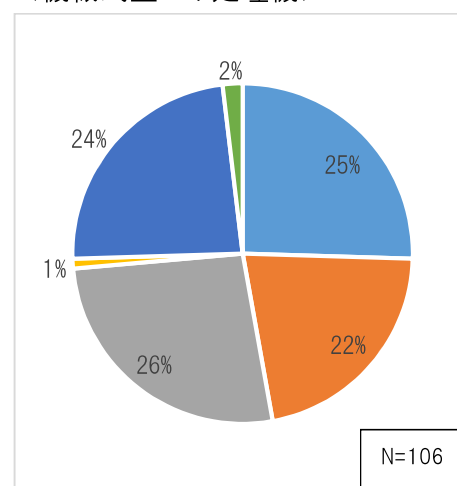
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



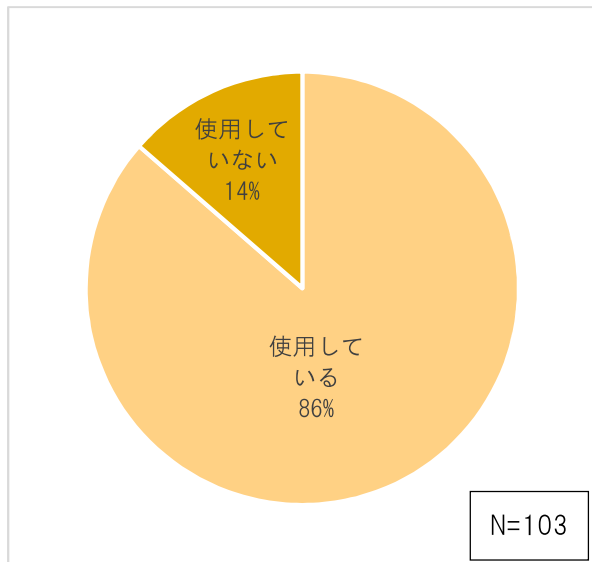
ごみの減量に関心があったから	68 人
生ごみのおいや虫が気になるから	37 人
購入補助金が交付されるから	58 人
知人や販売店に勧められたから	4 人
たい肥を活用したいから	59 人
その他	3 人

全体で「ごみの減量に関心があったから」が 30%で最も多く、次いで「たい肥を活用したいから」が 26%となりました。機械式生ごみ処理機では、「購入補助金が交付されるから」が最も多い結果となりました。

(「その他」と回答した人の主な回答)

- ・仕事で朝ゴミ出しすることができない日があるから。(コンポスト容器購入)
- ・元々コンポストを使用していたが虫が気になったから。(機械式生ごみ処理機購入)

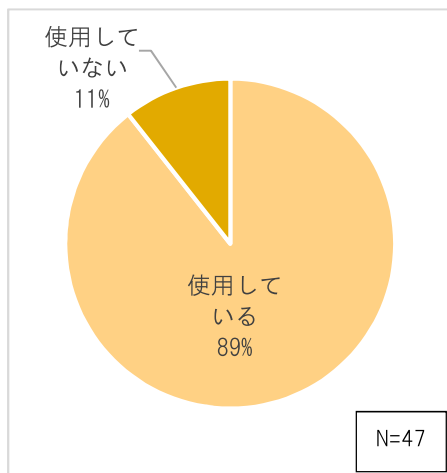
Q7.ごみ減量器具を現在も引き続き使用していますか。



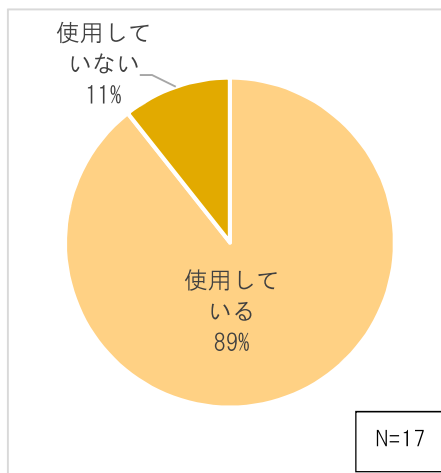
使用している	89人
使用していない	14人

全体で86%が現在も引き続き使用していると回答しました。器具ごとに見ても、どの器具も9割程度の人が引き続き使用していることが分かります。

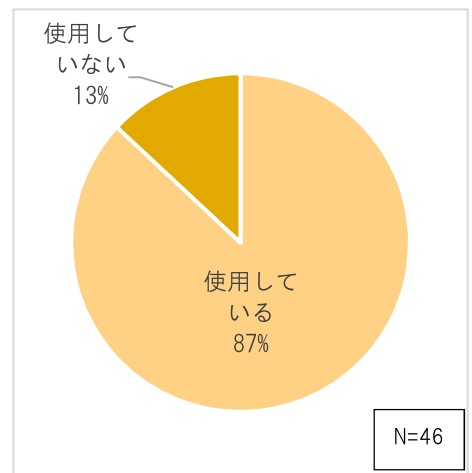
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



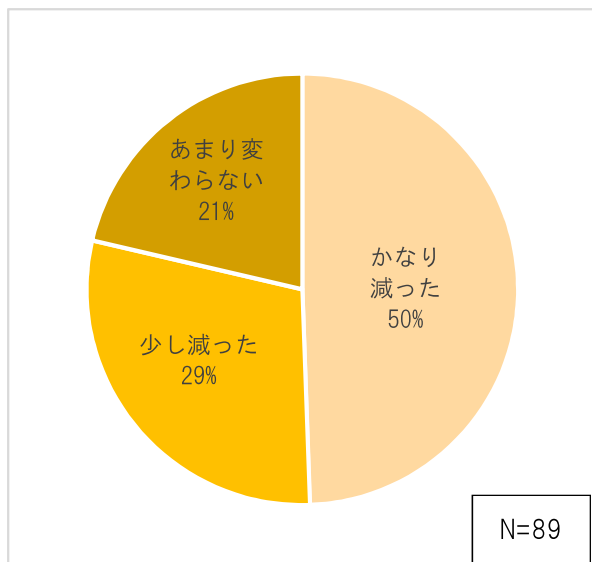
<機械式生ごみ処理機>



(「使用していない」と回答した人の主な理由)

- ・破損してしまったため。(コンポスト容器購入)
- ・EM ぼかしの入手が困難になったため。(生ごみ処理容器購入)
- ・臭いが気になったため。(コンポスト容器・生ごみ処理容器購入)
- ・電気代が気になったため。(機械式生ごみ処理機購入)

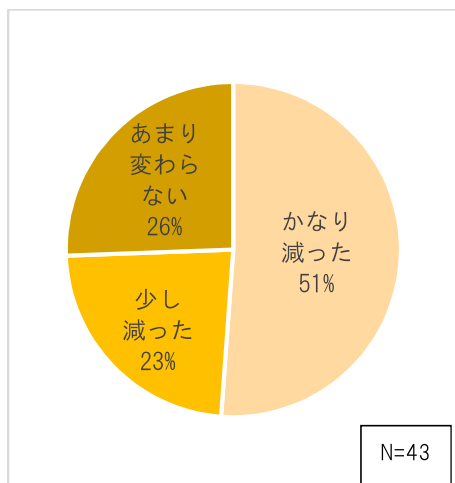
Q8.ごみ減量器具を購入して、集積所へ出すごみの量は変わりましたか。



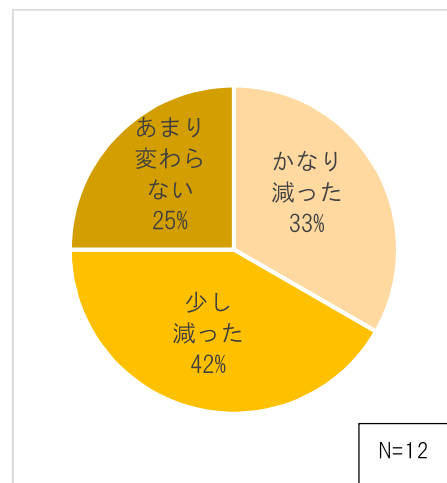
かなり減った	44 人
少し減った	26 人
あまり変わらない	19 人

全体で「かなり減った」が50%を占めました。
 器具ごとに見ても、全ての器具で「かなり減った」または「少し減った」と回答した人が75%近くを占めています。
 また、「あまり変わらない」と答えた人の中には、従前から減量器具を使用していたため、ごみの量は変わらないと答えた人も7名いました。

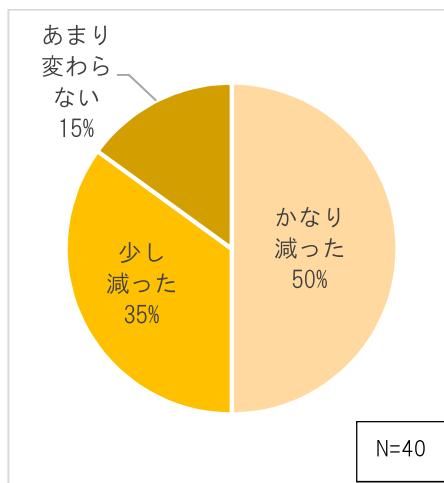
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



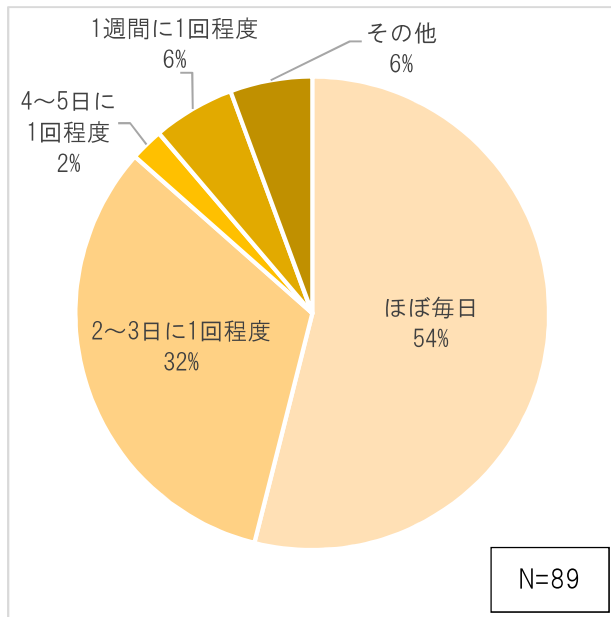
<機械式生ごみ処理機>



(「かなり減った」・「少し減った」と回答した人が、どれくらい減ったと感じているか(自由記述))

- ・生ごみを全く出さなくなった。(コンポスト容器・機械式生ごみ処理機購入)
- ・以前から生ごみ処理機を使用していたので、あまり量は変わらない。(コンポスト容器・生ごみ処理容器・機械式生ごみ処理機購入)
- ・生ごみが7~8割減った。(コンポスト容器・生ごみ処理容器・機械式生ごみ処理機購入)
- ・生ごみが半分程度に減った。(コンポスト容器・生ごみ処理容器・機械式生ごみ処理機購入)
- ・ゴミ袋の大きさが特大から大になった。(機械式生ごみ処理機購入)

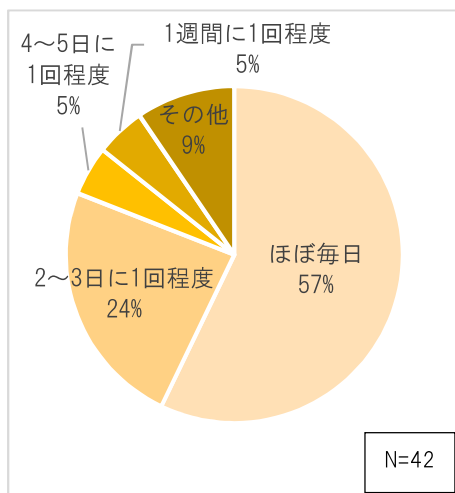
Q9.ごみ減量器具の使用頻度をお答えください。



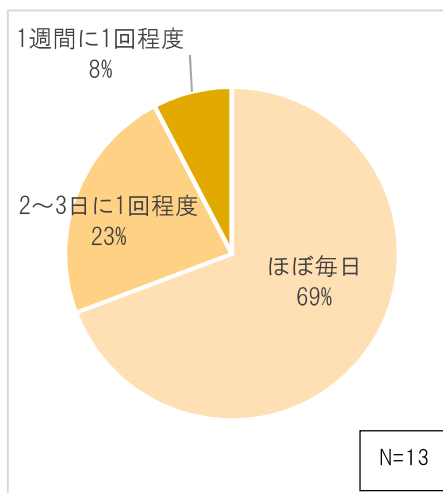
ほぼ毎日	48人
2~3日に1回程度	29人
4~5日に1回程度	2人
1週間に1回程度	5人
その他	5人

全体で「ほぼ毎日」が54%で半分以上を占めました。
器具ごとに見ても、どの器具も「ほぼ毎日」使用している人が半分以上を占めていることがわかります。

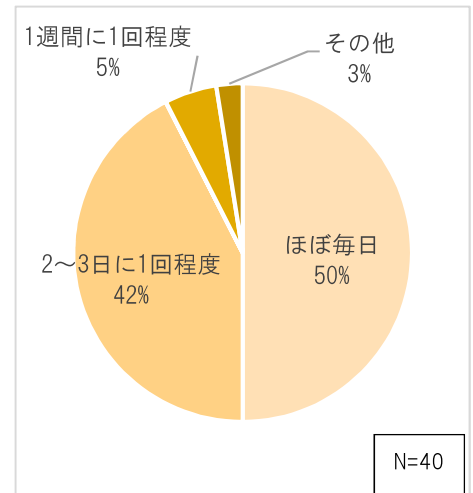
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



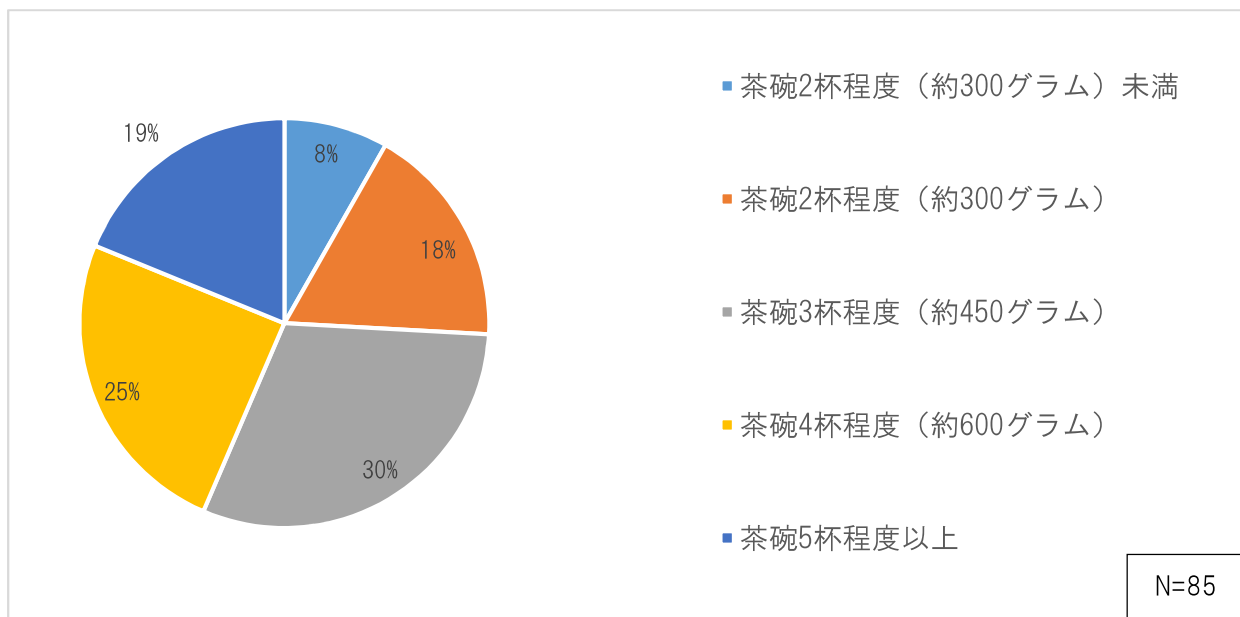
<機械式生ごみ処理機>



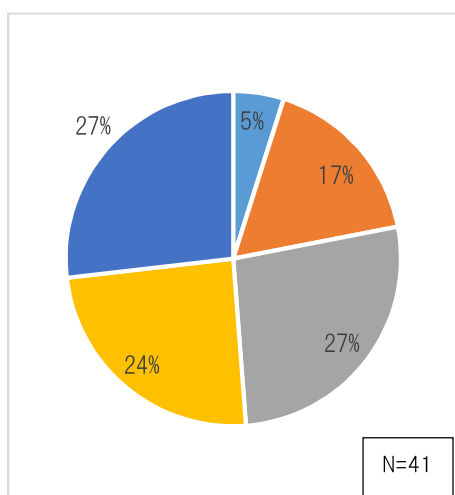
(「その他」と回答した人の主な内容)

- ・畑で作った野菜ごみを処理しているので年に数回。(コンポスト容器購入)
- ・季節によって量が違う。(コンポスト容器・機械式生ごみ処理機購入)

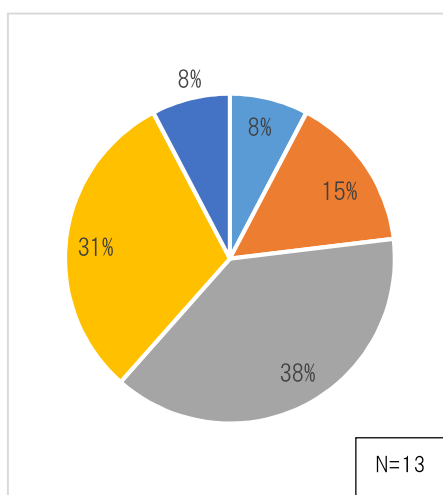
Q10.1 回の使用でどのくらいの生ごみを処理していますか。



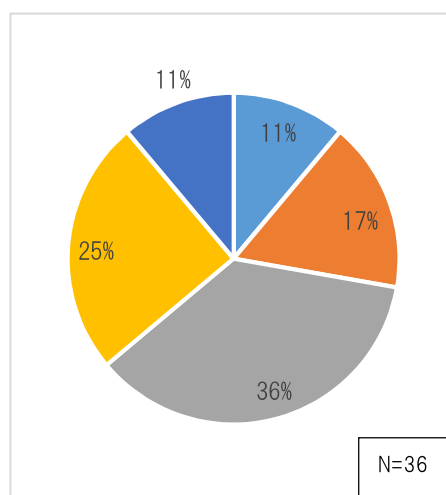
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



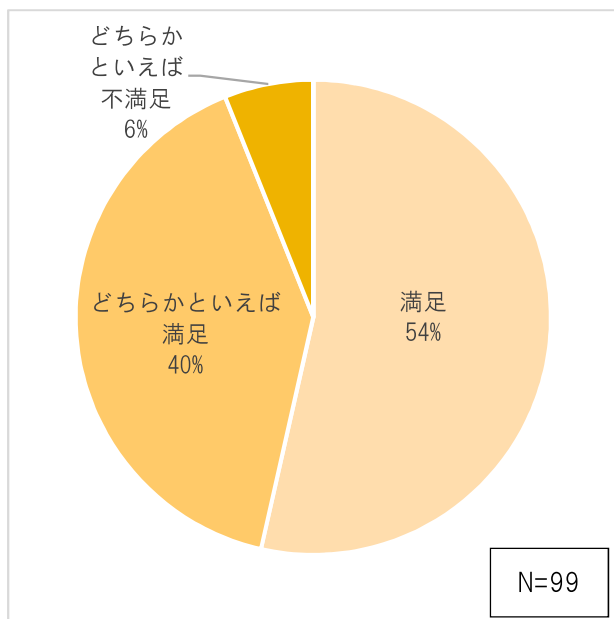
茶碗 2 杯程度(約 300 グラム)未満	7 人
茶碗 2 杯程度(約 300 グラム)	15 人
茶碗 3 杯程度(約 450 グラム)	26 人
茶碗 4 杯程度(約 600 グラム)	21 人
茶碗 5 杯程度以上	16 人

全体で「茶碗 3 杯程度(約 450 グラム)」が 30%で最も多く、次いで茶碗 4 杯程度(約 600 グラム)が 25%でした。器具ごとに見ても、どの器具も「茶碗 3 杯程度(約 450 グラム)」以上処理している人が 75%を占めています。

(「茶碗 5 杯程度以上」と答えた人の具体的な回答)

- ・ポリバケツ1~2杯程度。(コンポスト容器購入)
- ・茶碗7~10杯程度。(コンポスト容器・機械式生ごみ処理機購入)

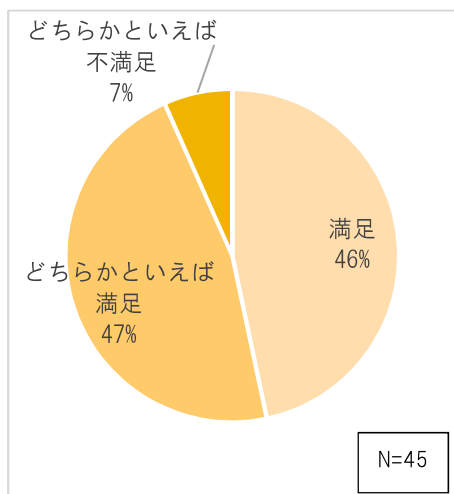
Q11.使用した満足度はどれくらいですか。



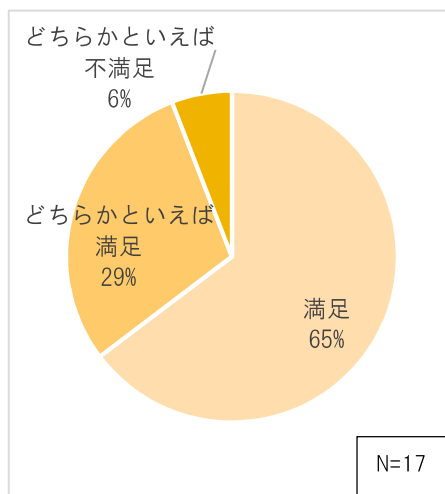
満足	53 人
どちらかといえば満足	40 人
どちらかといえば不満足	6 人
不満足	0 人

全体で「満足」または「どちらかといえば満足」と回答した人は 94%を占めています。
器具ごとに見ても、どの器具も「満足」または「どちらかといえば満足」と答えた人が 90%を超えています。

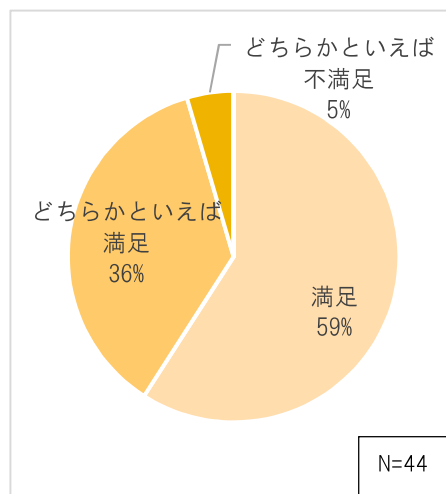
<コンポスト容器>



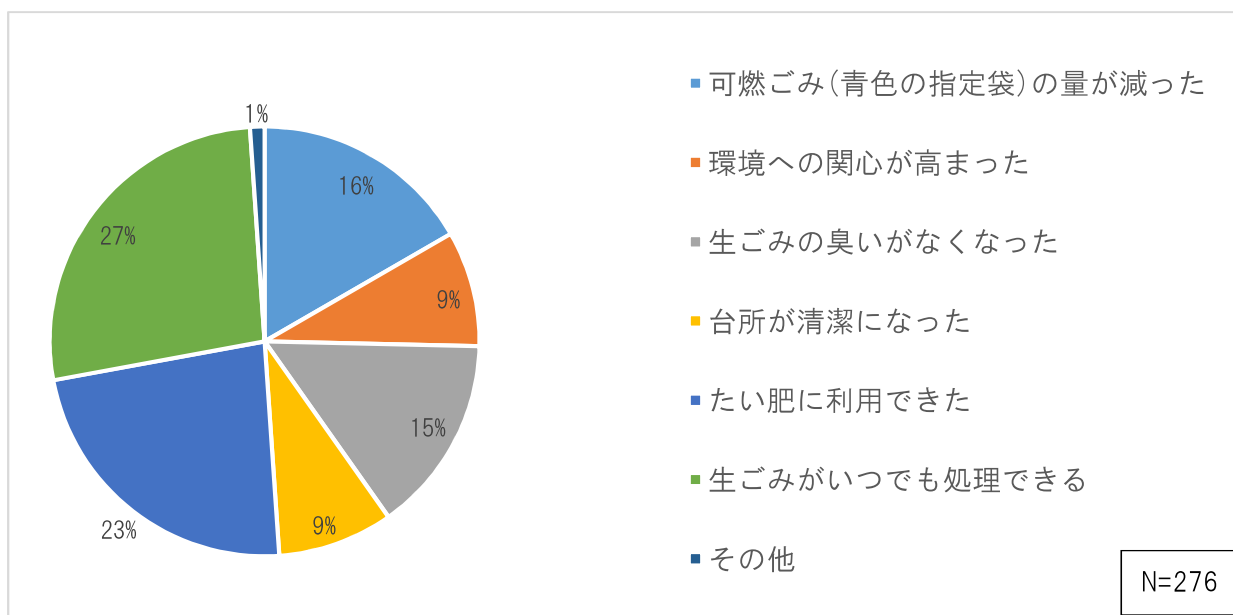
<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



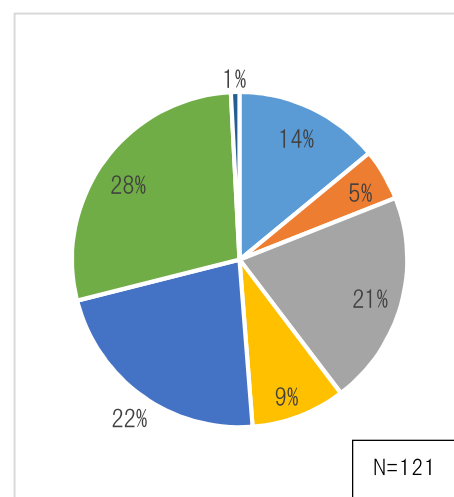
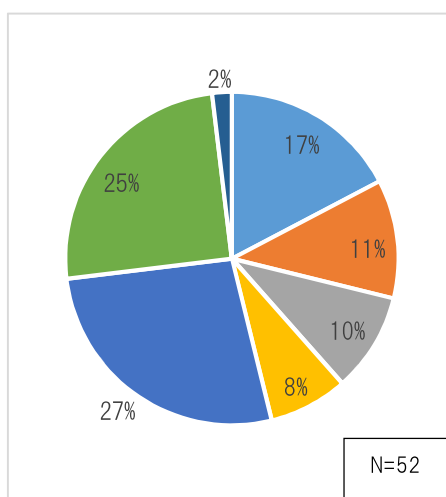
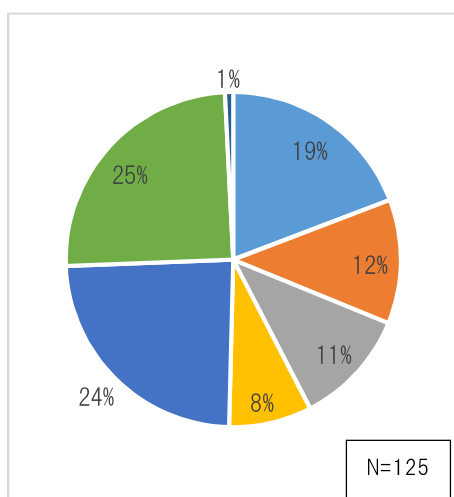
Q12.使用してみて良かった点を教えてください。(複数回答可)



<コンポスト容器>

<生ごみ処理容器>

<機械式生ごみ処理機>



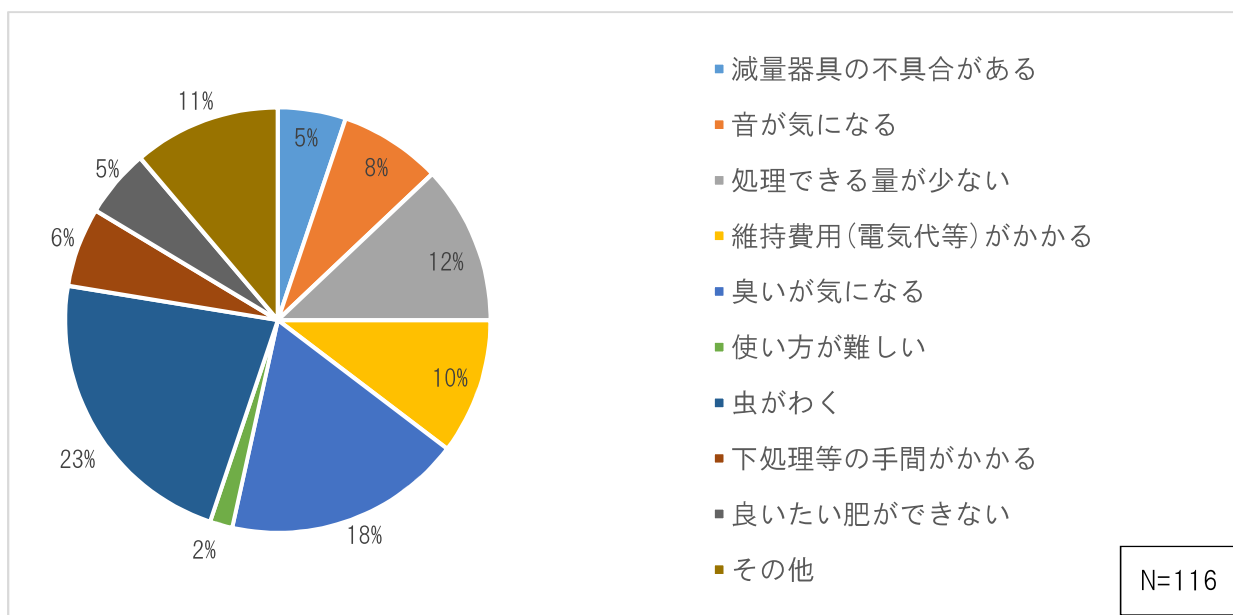
可燃ごみ(青色の指定袋)の量が減った	46 人
環境への関心が高まった	24 人
生ごみの臭いがなくなった	41 人
台所が清潔になった	24 人
たい肥に利用できた	64 人
生ごみがいつでも処理できる	74 人
その他	3 人

全体で「生ごみがいつでも処理できる」が 27%で最も多く、次いで「たい肥に利用できた」が 23%でした。器具ごとに見てもその 2 つの回答がとても多い結果となりました。

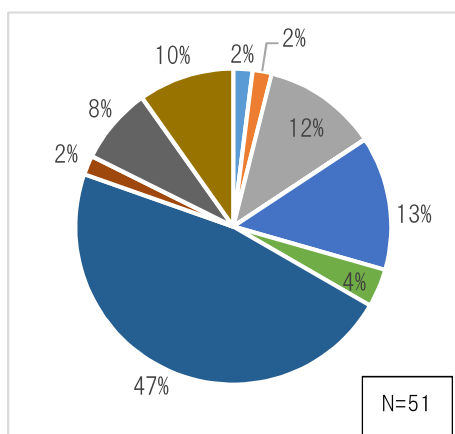
(「その他」と回答した人の主な意見)

- ・落ち葉や草も処理できる。(コンポスト容器購入)
- ・野菜に甘味が出る。(生ごみ処理容器購入)
- ・ゴキブリが出なくなった。(機械式生ごみ処理機購入)

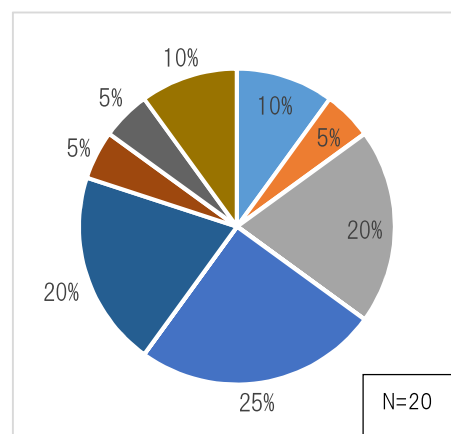
Q13.使用してみて悪かった点を教えてください。(複数回答可)



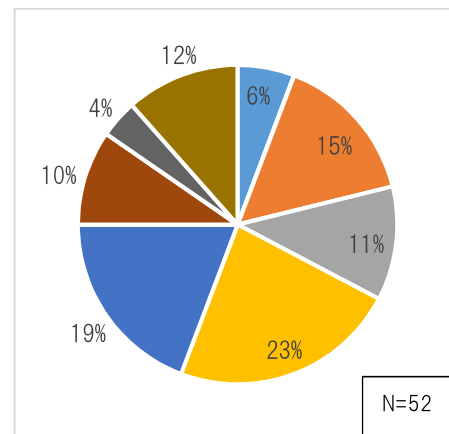
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



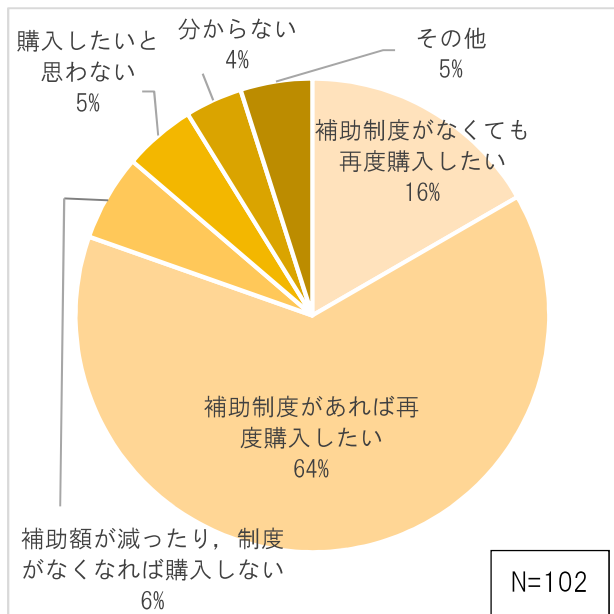
減量器具の不具合がある	6人
音が気になる	9人
処理できる量が少ない	14人
維持費用(電気代等)がかかる	12人
臭いが気になる	21人
使い方が難しい	2人
虫がわく	26人
下処理等の手間がかかる	7人
良いたい肥ができない	6人
その他	13人

全体で「虫がわく」が最も多く23%でした。
器具ごとに悪かった点で多かった回答は異なり、
コンポスト容器では「虫がわく」が、
生ごみ処理容器では「臭いが気になる」が、
機械式生ごみ処理機では「維持費用(電気代等)がかかる」が最も多くなりました。

(「その他」と回答した人の主な意見)

・場所を取る。(コンポスト容器・機械式生ごみ処理機購入)

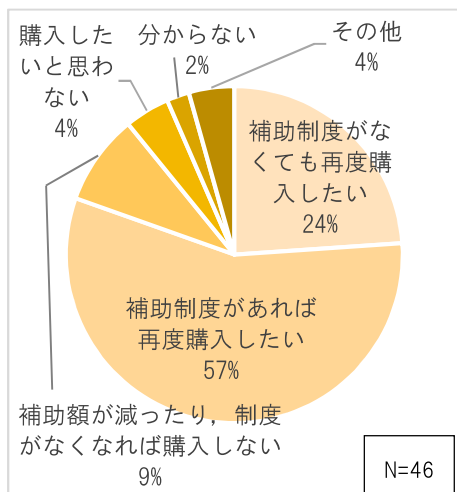
Q14.耐用年数を超えたり壊れたりした場合、また減量器具を購入したいと思いますか。



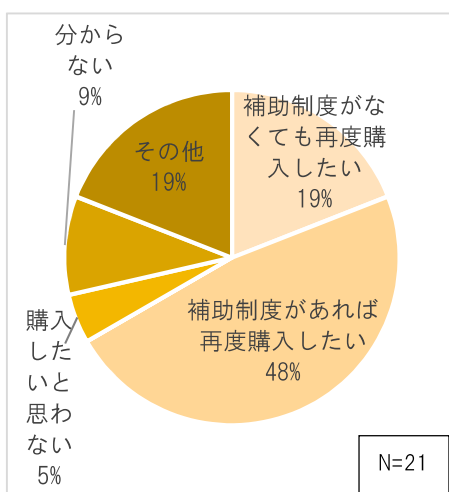
補助制度がなくても再度購入したい	17人
補助制度があれば再度購入したい	65人
補助額が減ったり、制度がなくなれば購入しない	6人
購入したいと思わない	5人
わからない	4人
その他	5人

全体で「補助制度があれば再度購入したい」が最も多く、64%を占めました。
器具ごとに見てもどの器具も「補助制度があれば再度購入したい」が最も多く、特に機械式生ごみ処理機では72%を占めました。

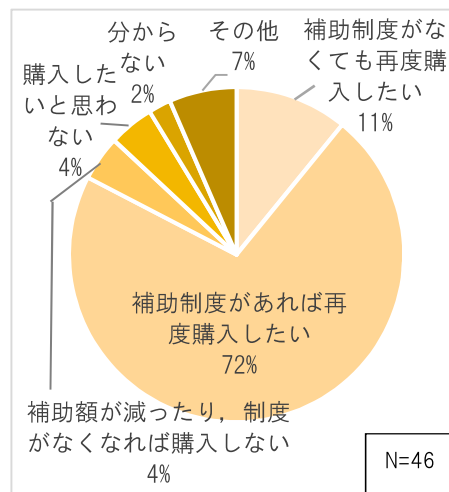
<コンポスト容器>



<生ごみ処理容器>



<機械式生ごみ処理機>



(「その他」と回答した人の主な回答)

- ・補助対象機種を増やしてほしい。(機械式生ごみ処理機購入)
- ・ネット販売も対象にしてほしい。(機械式生ごみ処理機購入)
- ・再補助までの期間を短くしてほしい。(機械式生ごみ処理機購入)

調査結果概要

1 購入したごみ減量器具の種類について(Q1)

購入したごみ減量器具の種類は、コンポスト容器が43%、機械式生ごみ処理機が42%で、この2種類が非常に多い結果となりました。生ごみ処理容器は15%で、他の減量器具に比べ購入する人が少ないことが分かりました。

また、複数の種類の減量器具を購入した人も7名いました。

2 住んでいる地区、年齢層、世帯構成及び居住形態について(Q2～Q5)

住んでいる地区は、成田地区及び下総地区が16%で最も多い結果となりました。人口が多い公津地区やニュータウン地区のほか、遠山地区や下総地区などの特例地区に住んでいる人も比較的多くなっています。

使用している人の年齢層については、70代以上が半数近くを占めています。機械式生ごみ処理機については他の器具に比べると40代以下の若い世代が多く使用していますが、それでも購入者の7%にとどまっています。

世帯構成については2人世帯が半数近くを占めており、どの器具も単身世帯での使用は少なく、複数人世帯が多く使用していることが分かりました。

居住形態については一戸建てが94%とかなり多くの割合を占めており、設置場所や発生した堆肥の処理等の点から、アパート・マンションでの使用者は少ないことが分かりました。

3 購入した理由(Q6)

購入の理由については、「ごみの減量に関心があったから」の回答が最も多く、次いで、「たい肥を活用したいから」、3番目に多い理由として「購入補助金が交付されるから」となりました。

器具ごとに見てもその3点の回答が多くなっています。

機械式生ごみ処理機については、「購入補助金が交付されるから」の回答が最も多く、販売価格の高い機械式生ごみ処理機は、補助金の交付も購入の大きな理由であることが分かります。

4 現在の使用状況について(Q7～Q10)

どの器具も9割近くの人が引き続き使用していることが分かりました。使用していない人の理由としては、「臭いが気になる」・「面倒になってしまった」等の回答がありました。購入する際は、器具ごとのメリットとデメリットの両方を理解し、継続して使用できる器具を選択できるよう情報提供していく必要があると考えます。

集積所に出すごみの量については、「かなり減った」又は「少し減った」と答えた人が、コンポスト容器及び生ごみ処理容器はそれぞれ約75%、機械式生ごみ処理機は約85%となりました。なお、「あまり変わらない」と答えた人の中には、従前から減量器具を使用していたため、ごみの量は変わらないと答えた人も7名いました。

使用頻度については、どの器具も「ほぼ毎日」使用しているという回答が半数以上を占めました。

1回の使用で処理する量については、どの器具も「茶碗3杯程度(約450グラム)」以上処理している人が75%近くを占めており、減量器具を使用している家庭では生ごみが大量に処理され、いずみ清掃工場に搬入されるごみの減量に寄与していることが分かります。

5 満足度について(Q11～Q13)

どの器具も「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答した人が9割を超えており、満足度が高いことが分かります。

使用して良かった点について、どの器具も「たい肥に利用できた」・「生ごみがいつでも処理できる」の回答が比較的多い結果となりました。

使用して悪かった点は器具ごとに異なり、コンポスト容器では「虫がわく」、生ごみ処理容器では「臭いが気になる」、機械式生ごみ処理機では「維持費用(電気代等)がかかる」の回答が最も多くなりました。

6 今後の購入の意思について(Q14)

どの器具も「補助制度があれば再度購入したい」と回答した人が最も多く、再度制度を利用したいと考えている人が多いことが分かりました。

また、「補助対象機種を増やしてほしい」・「インターネット販売も補助対象としてほしい」・「補助期間を短くしてほしい」等の意見もありました。

総論

ごみ減量器具は、使用した満足度が高く、また、生ごみの減量に大きく寄与していることが分かりました。

補助制度があれば再度購入したいと考えている人がとても多いことから、今後も補助制度の継続が必要です。

今後も補助制度のPRを継続し、住民に周知を図っていきます。